

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	山下いづみ（19）	<p>1. コロナ禍で起きる暴力被害の対策について</p> <p>新型コロナウイルスの影響で外出自粛に伴う生活の変化やストレスで、虐待やドメスティック・バイオレンス（DV）のリスクが世界的な懸案となっている。グテレス国連事務総長は4月5日、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）への対策の一環に、経済的、社会的な圧力や恐怖が高まる中で、DVが世界規模で恐ろしく急増していると指摘した。各国に新型コロナウイルス対策計画の主要項目として、女性への暴力の防止と救済を盛り込むよう全ての政府に要請するとした。</p> <p>政府は、地方公共団体にDVの相談対応から保護に至るまで、継続的かつ迅速な支援の実施を依頼するとともに、DV相談+（プラス）を設置した。富士市では従来設置のDVの相談、子供の虐待の相談、女性のための相談室の案内を市ウェブサイトの新型コロナウイルス感染症に関する情報ページに早々に掲載し対応をしている。</p> <p>コロナ禍による外出自粛により行動制限をせざるを得ない状況の中、家庭が全ての人にとって安全とは限らない現状を踏まえて、以下について質問をする。</p> <p>(1) 相談体制について</p> <p>① 相談状況はどうか。今後予想されることは何か。</p> <p>② 国のDV相談+（プラス）との連携体制は整っているか。</p> <p>(2) 特別定額給付金支給について</p> <p>① DV被害者の特別定額給付金対応状況はどのようなか。</p> <p>② 同居のDV被害者、子供の特別定額給付金対応はどのようなか。</p> <p>(3) DV対策の強化について</p> <p>① どのような方策を考えているのか。</p> <p>② 安全な場所の提供、啓発パトロール、安全な通報システムづくりが必要だと考えるが、いかがか。</p>	市長 及び 担当部長